

製品名: ゲルカゴンマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86050**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000
分子量	20.9kDa

抗原情報

遺伝子名	Glucagon
別名	Glucagon, Glicentin, Glicentin-related polypeptide, GRPP, Oxyntomodulin, OXM, OXY, Glucagon, Glucagon-like peptide 1, GLP-1, Incretin hormone, Glucagon-like peptide 1(7-37), GLP-1(7-37), Glucagon-like peptide 1(7-36), GLP-1(7-36), Glucagon-like peptide 2, GLP-2, GCG
遺伝子 ID	2641.0
SwissProt ID	P01275
免疫原	このグルカゴン抗体は、ヒトグルカゴンの 119 ~ 148 アミノ酸からなる KLH 結合合成ペプチドで免疫化されたマウスから生成されます。

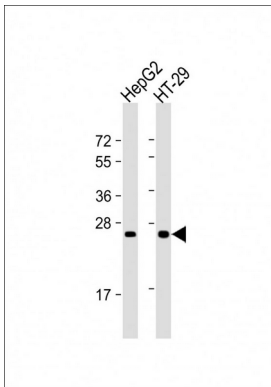
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、実際にはプレプロタンパク質であり、4つの異なる成熟ペプチドに切断されます。そのうちの1つであるグルカゴンは、グリコーゲン分解と糖新生を刺激することでインスリンの血糖降下作用を打ち消す膵臓ホルモンです。グルカゴンは、シグナル伝達経路によって細胞増殖を制御する特定のGタンパク質結合受容体のリガンドです。他の2つのペプチドは腸管内分泌細胞から分泌され、異なるメカニズムで栄養素の吸収を促進します。最後に、4つ目のペプチドは活性型エンテログルカゴンであるグリセンチンに類似しています。

研究分野

-

画像データ



全レーン：抗グルカゴン抗体（C末端）1:1000 希釈